

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

プロジェクト名	緑豊かなエコタウン推進プロジェクト		実施期間	平成29年度～平成32年度	テーマ	緑	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は、関西主要都市の近郊に位置しながらも、甘南備山の緑や木津川の水辺空間など多くの自然環境があるという魅力を活かし、都市と自然との調和を大切にしながら、緑あふれる自然環境を守り続けるまちづくりを進めてきた。しかしながら、市民を対象とした満足度調査では、都市と自然とのバランスを保ちながらも、さらに豊かな自然に触れ心のゆとりを実感できるまちづくりを求める声が多い。</p> <p>このことから、市民が安らぎ、憩える空間を創出し、豊かな自然を実感してもらえるよう「緑に包まれた環境にやさしいまちづくり」を進めるため、水辺や緑に親しみながらウォーキングのできる「水辺の散策路」を整備し、市民が心癒やされる場を創出し、緑に包まれた環境にやさしいまちづくりを進める。</p> <p>また、地球温暖化をはじめ地球環境が深刻化する中、環境への負荷を可能な限り少なくし、持続可能な社会を形成することが求められている中、市民、事業者、行政が一体となったごみ減量化と再資源化の推進や、省エネルギーや再生エネルギーの活用など、地球環境への負荷を軽減する取り組みを行う必要がある。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>市民が憩い、交流し、緑に親しめる空間を創出するため、計画的に公園整備を進めるとともに、天井川の切り下げに伴う緑地、河川、ため池などを結ぶ水と緑のネットワークづくりを進める。また、市民参画による身近な公園や緑地の充実にに向けた取り組みを促進する。</p> <p>加えて、地球温暖化防止促進を図るため、家庭のエコ活動を支援する等、省エネルギー化や再生エネルギー化の普及に努めるとともに、循環型社会形成及びごみ減量化を目的として、市民と協働して、リユース事業等を推進する。</p>							
	総事業費（千円）	162,028	本年度事業費（千円）	133,536	交付金額（千円）	21,222		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	都市公園整備事業	交付対象事業	緑・農業・福祉連携をテーマとした、子どもから高齢者、障がいのある人など、市民が交流し合える公園整備を行う。			用地取得及び既存物件の撤去工事に着手した		
	水辺の散策路環境整備事業	交付対象事業	順次整備を進めている水辺の散策路について、路面表示や案内看板を設置するもの。			路面標示：4ルート 案内看板の設置：2ルート 路面の補修・舗装工事を実施 健幸ウォークイベントを実施		
	家庭のエコ支援事業	関連事業	燃料電池や蓄電池の設置者に対し、設置費用の一部を補助するもの。			家庭用燃料電池システム設置補助：136件 住宅用蓄電池・太陽光発電システム設置補助：22件		
	雨水タンク設置促進事業	関連事業	雨水タンクの設置者に対して、購入費用の一部を助成するもの。			12件に対して設置補助を実施		
	遊歩道整備事業	交付対象事業	松井山手地区と北部住民センターを結ぶ自転車歩行者道を整備し、水辺の散策路の回遊性を高めるもの。			造成工事に着手		
	照明LED化事業	交付対象事業	防犯灯、道路照明灯のLED化により、消費電力を減らし、環境にやさしいまちづくりを推進			防犯灯、道路照明灯のLED化事業化を実施（防犯灯6,296箇所、道路灯1,047箇所）		
	第4次京田辺市総合計画策定事業	関連事業	第4次京田辺市総合計画を策定するもの。			計画策定を実施		
住民 協働 事業	エコパークかなび協働事業	交付対象事業	循環型社会形成及びごみ減量化を目的として、エコパークかなびを市民と協働で運営					
	きょうたなべ環境パートナーシップ事業	交付対象事業	市民、学生、事業者及び市が連携・協働して、環境の保全と創造に向けて取り組む。					
住民が 取り組む 事業								

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：京田辺市

成果指標①	成果指標の目標数値	燃料電池システム設置補助件数：100件		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	136件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標件数を上回りエコタウンの推進を図れている	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	水辺の散策路看板設置：2箇所		成果指標の実績値 (平成31年3月31日時点)	2箇所
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	案内看板の設置により市民への周知を図ったほか、健幸ウォークイベントの開催等をおして、市民の健康や自然を活かしたまちづくりの推進を図れた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	エコタウンの推進により家庭のエコ支援事業や雨水タンク設置事業等の活用が進み、成果指標の達成につながっている。京田辺市の豊かな自然・景観を活かした水辺の散策路を整備することで、市民の健康向上やより魅力あるまちづくりにつながっている。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	照明のLED化や家庭用燃料電池・蓄電池システム等の整備により、まち全体でエコタウン推進を図れている。			
	府と市町村等との連携に資する成果				
	住民の自治意識を高める成果				
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果	水辺の散策路の整備により、市民が散策やウォーキングを通じて、自然の豊かさを身近に感じることができるようになり、健康増進に繋がった。			